

# 記入例（個人）

令和〇年 〇月 〇日

川崎市長 様

会社等の事業所住所ではなく、**申請者の住所を記入**してください。  
※許可証は原則郵送しておりますので、郵送先が申請者住所と異なる場合は、別途余白又は別紙に住所（事業所住所など）、宛先、担当者名、連絡先を記入してください。

郵便番号 〇〇〇—〇〇〇〇  
住所 〇〇県〇〇市〇〇 ×丁目×番地  
氏名 〇〇 〇〇 ほか〇名  
職業 会社員  
生年月日 〇〇年 〇月 〇日  
電話番号 ×××—×××—××××

2人以上で共同で捕獲等を行う場合、代表者名の後に「ほか〇名」と記載し、実施者名簿を添付してください。

次のとおり鳥獣の捕獲等（鳥類の卵の採取等）をしたいので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第9条第2項及び第8項の規定により申請します。

許可証番号	※
捕獲等しようとする鳥類の卵の種類及び採取等しようとする鳥類の種類	種 類 数 量 ドバト又はキジバト ヒナ〇羽 卵△個
捕獲等又	鳥の糞害による生活環境被害防止のため 令和 〇年 △月 △日から 令和 〇年 ×月 ×日まで 〇〇市〇〇 ×丁目×番地 箱わな、手捕り
学術研究を目的として、捕獲等又は採取等しようとする場合にあっては、研究の事項及び方法	ヒナは炭酸ガスによる安楽殺処分後 焼却卵は焼却または埋設
鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行令第1項第7号	<input type="checkbox"/> 鳥獣保護区 <input type="checkbox"/> 休猟区 <input type="checkbox"/> 自然公園 <input type="checkbox"/> 自然公園の管理区域 <input type="checkbox"/> 公園 <input type="checkbox"/> 原生自然環境保全地域 <input type="checkbox"/> 境内 <input type="checkbox"/> 墓地 <input type="checkbox"/> 猟具使用禁止区 <input type="checkbox"/> 猟具使用禁止区域
許可申請者（法人にあっては、捕獲等に従事する者）の氏名	氏名 住所 職業 生年月日
	狩猟免許及び狩猟者登録証 種類 番号 交付年月日 交付し都道府県知事

**<期間の上限>**  
鳥類：6ヶ月 獣類：1年  
期間終了後も捕獲したい場合は、再度申請ください。  
なお、許可証等の交付までに数日かかりますので、余裕をもって申請してください。

**<捕獲・採取後の処置>**  
致死処分を行う場合には、方法の詳細と、死体の処理方法について記入してください。

**<目的>**  
被害があることが明確にわかるように記入してください。「有害鳥獣駆除」などでは認められません。

**<区域>**  
申請者住所と同じ場合は、「住所に同じ」、異なる場合は、捕獲場所の住所を必ず記入してください。また、本申請書と併せて、**捕獲場所の地図の提出**もお願いします。（下欄「添付書類2」を参照）

1人で申請する場合は記入不要です。  
共同で申請する場合、実施者名簿に共同捕獲実施者の情報を記入してください。

生息状況	〇〇羽
被害時期	令和〇年△月～×月 または 通年
被害対象物	敷地内に営巣され、糞害により支障が出ている。
被害面積	〇〇㎡
被害見積額	〇〇円

- 備考 1 ※印の欄には記入しないでください。  
2 不要な文字は抹消し、該当する項目の□にレ印を付してください。  
3 銃器を使用する場合は、「許可申請者（法人にあっては、捕獲等に従事する者）の狩猟免許可番号及び許可年月日並びに鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則第67条第1項第1号に規定する共済事業の給付額及び被共済期間又は同項第2号に規定する損害保険契約の保険金額及び被保険期間を記載してください。  
4 第2面は有害鳥獣捕獲の場合にのみ記載してください。  
5 記入欄が不足する場合は、別に記入した書類を添付してください。

### 添付書類

- 鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等しようとする事由を証する書面
- 鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等しようとする場所を明らかにした図面
- 銃器を使用する方法以外の方法を用いて捕獲等をする場合は、当該方法を明らかにした図面

可能な範囲でご記入ください。